

2020年5月8日

各 位

東京都渋谷区神宮前三丁目 28 番 1 号
株式会社ユナイテッドアローズ
代表取締役 社長 執行役員
竹田 光 広
(コード番号：7606 東証第一部)
問合わせ先
IR広報部 部長 三井 俊 治
電 話 番 号 03-5785-6637

特別損失の計上および通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2020年2月6日に公表しました2020年3月期通期業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2020年3月期の特別損失の計上を併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 161,240	百万円 10,870	百万円 10,900	百万円 5,300	円 銭 186.78
今回実績値 (B)	157,412	8,758	8,803	3,522	124.15
増減額 (B-A)	△ 3,827	△ 2,111	△ 2,096	△ 1,777	
増減率 (%)	△2.4%	△19.4%	△19.2%	△33.5%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	158,918	11,063	11,312	6,417	226.20

2. 特別損失の計上について

2020年3月期におきましては、暖冬に伴う秋冬物商品の売上低下に加え、2020年2月中旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大による消費の減退、訪日外国人の減少に伴うインバウンド売上の縮小、自治体の外出自粛要請に応じた店舗の営業時間の短縮、一部店舗の臨時休業などにより、特に実店舗の売上高が例年および予想を下回る結果となり、通期で合計73店舗の減損損失を計上いたしました。また、当社では自社ネット通販サイトのシステム開発を進めておりますが、不具合の発生に伴い、上記に関わる無形固定資産（ソフトウェア仮勘定）等について精査し、今後の活用が不可能な資産について減損処理を行い、2020年3月期第3四半期に約5億円を特別損失に計上しましたが、さらに精査を進めた結果、第4四半期に追加で1億円弱の減損損失を計上いたしました。以上の結果、2020年3月期に計上した減損損失は2,509百万円、これを含む特別損失は2,582百万円となります。

なお、自社ネット通販サイトのシステム開発に向けたソフトウェアにつきましては、今回にて一連の精査は完了し、残りのソフトウェアは引き続き活用し開発を継続していくことになりましたので、併せてお知らせいたします。

3. 差異の理由

当社では2020年2月6日に通期業績予想を修正し発表いたしました。2月中旬以降、上記「2. 特別損失の計上について」に記載の理由のとおり、売上高は予想を下回る結果となりました。また、売上の低下に伴い、値引き販売の拡大など在庫消化策の促進等による売上総利益率の低下があったほか、上記のとおり特別損

失を計上いたしました。以上の結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は直近の業績予想からそれぞれ19.4%、19.2%、33.5%下回りました。

以 上